

令和6年群馬県農業産出額

農政部 令和8年3月

群馬県における令和6年の農業産出額は、2,868億円と前年に比べて8.0%（213億円）増加となりました。主な増加理由は、米の作付面積や豚の生産量の増加、米や野菜、豚肉、生乳の単価上昇によるものです。また、都道府県別の順位は15位です。

部門	区分	産出額 (億円)	対前年比 (%)	対前年 増減額 (億円)	概 要	
農業産出額 計		2,868	108.0	213		
耕種	米	273	178.4	120	猛暑を起因とした全国的な供給不足と需要増により、作付面積が増加し、単価も上昇したことから、産出額は大幅に増加した。	
	麦類	23	100.0	0	作付面積はわずかに減少したものの、小麦の収量が増加したため、全体としては横ばいとなった。	
	雑穀・豆類	2	66.7	▲ 1	作付面積の減少と猛暑の影響により生産量が減少し、産出額は大幅に減少した。	
	いも類	9	150.0	3	ばれいしょの単価が60円/kg→120円/kgに上昇したため、産出額は大幅に増加した。	
	園芸	野菜	1,042	109.0	86	野菜の単価が全体的に上昇したため、産出額はかなりの程度増加した。
		果実	78	102.6	2	温暖化の影響による果実品質の低下が見られたものの、大きな気象災害はなく、産出額はやや増加した。
		花き	55	98.2	▲ 1	高齢化に伴う作付面積の縮小により、出荷量が減少した。加えて、物価高騰の影響により市場価格が低迷したことで、産出額はわずかに減少した。
	計		1,175	108.0	87	
	工芸農作物		44	89.8	▲ 5	こんにゃくも価格の下落等により、産出額はかなりの程度減少した。
	その他		13	108.3	1	
計		1,540	115.4	205		
畜産	肉用牛	189	103.8	7	肉用種子牛は生産量・単価ともに減少したものの、肉用種肥育牛の生産量が増加し、交雑種肥育牛の単価も上昇したため、産出額はやや増加した。	
	乳用牛	277	108.2	21	生乳単価の上昇により、産出額はかなりの程度増加した。	
		生乳	253	108.6		20
	豚	515	107.7	37	生産量、単価ともに上昇したため、産出額はかなりの程度増加した。	
	鶏	331	85.3	▲ 57	鶏卵の産出額が大幅に減少したため、鶏全体の産出額はかなり大きく減少した。	
		鶏卵	268	82.0	▲ 59	生産量は増加したものの、昨年の急激な単価上昇から一転して単価が下落したため、産出額は大幅に減少した。
		ブロイラー	48	100.0	0	生産量は増加したものの、単価が下落したため、産出額は前年並みにとどまった。
	その他		15	100.0	0	
計		1,327	100.6	8		
加工農作物		1	100.0	0		
(参考) 水産物		5	100.0	0	養殖産出額がやや増加した。	

(注) 合計と内訳は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

個別農産物順位

順位	品 目	産出額 (億円)	構成比 (%)	前年順位
1	豚	515	18.0	1
2	米	273	9.5	6
3	鶏卵	268	9.3	2
4	生乳	253	8.8	3
5	キャベツ	197	6.9	4

わずか：±2%以内 やや：±3～5% かなりの程度：±6～10% かなり大きく：±11～15% 大幅：±16%以上
